【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和3年10月7日(2021.10.7)

【公表番号】特表2020-534755(P2020-534755A)
【公表日】令和2年11月26日(2020.11.26)
【年通号数】公開・登録公報2020-048
【出願番号】特願2020-516475(P2020-516475)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｗ　72/04　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　16/14　(2009.01)
Ｈ０４Ｗ　28/06　(2009.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｗ　72/04　１３６
Ｈ０４Ｗ　16/14
Ｈ０４Ｗ　28/06　１１０

【手続補正書】
【提出日】令和3年8月25日(2021.8.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
共用通信媒体上で、チャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成する方法であって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウ内で送信を開始すべきかどうかを決定するために、クリアチャネル評価（ＣＣＡ）プロトコルを実行することと、
前記実行することに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを送信すること、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルされるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳをスクランブルすることと
を備える、方法。
【請求項２】
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、または
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、

請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールは、前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方に対して同じスクランブルを使用する固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールである、
請求項１に記載の方法。
【請求項４】
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方をスクランブルすることである、または
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方をスクランブルすることである、
請求項３に記載の方法。
【請求項５】
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることであり、
前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
請求項１に記載の方法。
【請求項６】
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることであり、
前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
請求項１に記載の方法。
【請求項７】
共用通信媒体上で、チャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得する方法であって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウをモニタすることと、
前記モニタすることに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを受信すること、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む

複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
　第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルを解除されるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳのスクランブルを解除することと
　を備える、方法。
【請求項８】
　前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、または
　前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、
　請求項７に記載の方法。
【請求項９】
　前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールは、前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方に対して同じスクランブル解除を使用する固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールであり、
　前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方のスクランブルを解除することである、または
　前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方のスクランブルを解除することである、
　請求項７に記載の方法。
【請求項１０】
　前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックで受信され、
　前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの第２のブロックで受信され、
　前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することであり、
　前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
　請求項７に記載の方法。
【請求項１１】
　前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックで送信され、

前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることであり、
前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
請求項７に記載の方法。
【請求項１２】
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成するためのアクセスポイントであって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウ内で送信を開始すべきかどうかを決定するために、クリアチャネル評価（ＣＣＡ）プロトコルを実行するための手段と、
前記実行することに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを送信するための手段、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルされるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳをスクランブルするための手段と
を備える、アクセスポイント。
【請求項１３】
共用通信媒体上で、チャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得するように構成されたユーザ機器（ＵＥ）であって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウをモニタするための手段と、
前記モニタすることに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを受信するための手段、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルを解除されるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳのスクランブルを解除するための手段と
を備える、ＵＥ。
【請求項１４】
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成するためにアクセスポイントにより実行されたとき、前記アクセスポイントに請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の方法を実施させる、命令を含むコンピュータ可読媒体。
【請求項１５】
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得するように構成されたユーザ機器（ＵＥ）により実行されたとき、アクセスポイントに請求項１乃至１１のいずれか１項に記載の方法を実施させる、命令を含むコンピュータ可読媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００９７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００９７】
[00106]前述の開示は、様々な例示的な諸態様を示しているが、様々な変更および修正が、添付の特許請求の範囲に定義される範囲から逸脱することなく、示された例に加えられ得ることに留意されたい。本開示は、特に示された例だけに限定されるようには意図されていない。たとえば、その他の形で述べられない限り、本明細書で述べられた本開示の諸態様による方法請求項の機能、ステップ、および／またはアクションは、いずれかの特定の順序で実施される必要はない。さらにいくつかの態様は、単数で述べられ、または特許請求され得るが、単数に対する限定が明示的に述べられない限り、複数も企図される。
以下に、本願出願の当初の特許請求の範囲に記載された発明を付記する。
［Ｃ１］
共用通信媒体上で、チャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成する方法であって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウ内で送信を開始すべきかどうかを決定するために、クリアチャネル評価（ＣＣＡ）プロトコルを実行することと、
前記実行することに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを送信すること、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルされるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳをスクランブルすることと
を備える、方法。
［Ｃ２］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ３］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ４］
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールは、前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方に対して同じスクランブルを使用する固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ５］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、

前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方をスクランブルすることである、
Ｃ４に記載の方法。
［Ｃ６］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方をスクランブルすることである、
Ｃ４に記載の方法。
［Ｃ７］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ８］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ９］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ１０］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ１１］

前記ＣＣＡプロトコルは、リッスンビフォアトーク（ＬＢＴ）カテゴリ４である、
Ｃ１に記載の方法。
［Ｃ１２］
共用通信媒体上で、チャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得する方法であって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウをモニタすることと、
前記モニタすることに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを受信すること、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルを解除されるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳのスクランブルを解除することと
を備える、方法。
［Ｃ１３］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ１４］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ１５］
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールは、前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方に対して同じスクランブル解除を使用する固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ１６］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレームの両方のスクランブルを解除することである、
Ｃ１５に記載の方法。
［Ｃ１７］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記固定されたＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第１のＤＲＳサブフレームと前記第２のＤＲＳサブフレ

ームの両方のスクランブルを解除することである、
Ｃ１５に記載の方法。
［Ｃ１８］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックで受信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの第２のブロックで受信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ１９］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックで送信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの第２のブロックで送信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルすることは、前記サブフレームの第２のブロックの前記第２のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルすることである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ２０］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックで受信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの第２のブロックで受信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ２１］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックで受信され、
前記第２のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの第２のブロックで受信され、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除することは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除することである、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ２２］
前記ＣＣＡプロトコルは、リッスンビフォアトーク（ＬＢＴ）カテゴリ４である、
Ｃ１２に記載の方法。
［Ｃ２３］
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成するためのアクセスポイントであって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウ内で送信を開始すべきかどうかを決定するために、クリアチャネル評価（ＣＣＡ）プロトコルを実行するための手段と、
前記実行することに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳ

を送信するための手段、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルされるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳをスクランブルするための手段と
を備える、アクセスポイント。
［Ｃ２４］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルするための手段は、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルする、
Ｃ２３に記載のアクセスポイント。
［Ｃ２５］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記スクランブルするための手段は、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルする、
Ｃ２３に記載のアクセスポイント。
［Ｃ２６］
共用通信媒体上で、チャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得するように構成されたユーザ機器（ＵＥ）であって、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウをモニタするための手段と、
前記モニタすることに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを受信するための手段、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルを解除されるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳのスクランブルを解除するための手段と
を備える、ＵＥ。
［Ｃ２７］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除するための手段は、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除する、
Ｃ２６に記載のＵＥ。
［Ｃ２８］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記スクランブルを解除するための手段は、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除する、

Ｃ２６に記載のＵＥ。
［Ｃ２９］
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成するためのアクセスポイントであって、
メモリと、
少なくとも１つのトランシーバと、
前記メモリおよび前記少なくとも１つのトランシーバに結合された少なくとも１つのプロセッサと
を備え、前記少なくとも1つのプロセッサは、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウ内で送信を開始すべきかどうかを決定するために、クリアチャネル評価（ＣＣＡ）プロトコルを実行することと、
前記実行することに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを送信すること、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルされるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳをスクランブルすることと
を行うように構成される、アクセスポイント。
［Ｃ３０］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記少なくとも１つのプロセッサは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルするように構成される、Ｃ２９に記載のアクセスポイント。
［Ｃ３１］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記少なくとも１つのプロセッサは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルするように構成される、
Ｃ２９に記載のアクセスポイント。
［Ｃ３２］
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得するように構成されたユーザ機器（ＵＥ）であって、
メモリと、
少なくとも１つのトランシーバと、
前記メモリおよび前記少なくとも１つのトランシーバに結合される少なくとも1つのプロセッサと
を備え、前記少なくとも１つのプロセッサは、
サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウをモニタすることと、
前記モニタすることに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを受信すること、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、

第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルを解除されるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳのスクランブルを解除することと
を行うように構成される、ＵＥ。
［Ｃ３３］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記少なくとも１つのプロセッサは、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除するようにさらに構成される、
Ｃ３２に記載のＵＥ。
［Ｃ３４］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記少なくとも１つのプロセッサは、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除するようにさらに構成される、
Ｃ３２に記載のＵＥ。
［Ｃ３５］
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を構成するためにアクセスポイントにより実行されたとき、前記アクセスポイントに動作を実施させる、命令を含む非一時的なコンピュータ可読媒体であって、前記命令は、
前記アクセスポイントに、サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウ内で送信を開始すべきかどうかを決定するために、クリアチャネル評価（ＣＣＡ）プロトコルを実行させる少なくとも１つの命令と、
前記アクセスポイントに、前記実行することに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを送信させる少なくとも１つの命令、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
前記アクセスポイントに、第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルされるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳをスクランブルさせる少なくとも１つの命令と
を備える、非一時的なコンピュータ可読媒体。
［Ｃ３６］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記アクセスポイントにスクランブルさせる前記少なくとも１つの命令は、前記アクセスポイントに、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルさせるように構成される、
Ｃ３５に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。
［Ｃ３７］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれて

おり、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブルルールに基づいて、前記アクセスポイントにスクランブルさせる前記少なくとも１つの命令は、前記アクセスポイントに、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブルに従って前記第２のＤＲＳサブフレームをスクランブルさせるように構成される、
Ｃ３５に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。
［Ｃ３８］
共用通信媒体上でチャネル状態情報基準信号（ＣＳＩ－ＲＳ）を取得するように構成されたユーザ機器（ＵＥ）により実行されたとき、アクセスポイントに動作を実施させる、命令を含む非一時的なコンピュータ可読媒体であって、前記命令は、
前記ＵＥに、サブフレームの第１のブロックおよびサブフレームの第２のブロックを含む無線フレームの発見基準シグナリング（ＤＲＳ）測定タイミング構成（ＤＭＴＣ）ウィンドウをモニタさせる少なくとも１つの命令と、
前記ＵＥに、前記モニタすることに基づいて、前記ＤＭＴＣウィンドウ内でマルチサブフレームＤＲＳを受信させる少なくとも１つの命令、前記マルチサブフレームＤＲＳは、複数のシンボルをそれぞれが含む複数のＤＲＳサブフレームを含む、と、
前記ＵＥに、第１のＤＲＳサブフレームが、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれるか、それとも前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれるかに基づいて、第２のＤＲＳサブフレームがどのようにスクランブルを解除されるべきかを決定するＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに従って前記マルチサブフレームＤＲＳの前記第１および第２のＤＲＳサブフレームにおけるＣＳＩ－ＲＳのスクランブルを解除させる少なくとも１つの命令と
を備える、非一時的なコンピュータ可読媒体。
［Ｃ３９］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第１のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記ＵＥに、スクランブルを解除させる前記少なくとも１つの命令は、前記サブフレームの第１のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って、前記ＵＥに、前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除させるように構成される、
Ｃ３８に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。
［Ｃ４０］
前記第１のＤＲＳサブフレームは、前記サブフレームの第２のブロックの中に含まれており、
前記ＣＳＩ－ＲＳスクランブル解除ルールに基づいて、前記ＵＥに、スクランブルを解除させる前記少なくとも１つの命令は、前記サブフレームの第２のブロックの最初のブロックに対して定義されたスクランブル解除に従って、前記ＵＥに、前記第２のＤＲＳサブフレームのスクランブルを解除させるように構成される、
Ｃ３８に記載の非一時的なコンピュータ可読媒体。